

令和7年度 青森県理学療法士会 青森支部活動報告



謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より青森県理学療法士会青森支部活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様のご協力により、今年度も予定しておりました支部活動が無事に終えることができました。簡単ではございますが、今年度の支部活動報告をいたしますのでぜひご覧下さい。

謹白

特別研修会



テーマ：

「パラスポーツサポートの変遷とこれから」

講師：門田正久 先生

（飛翔会グループ株式会社ケアウイング）

参加者：21名



研修会の前半は日本のパラスポーツの歴史やこれまでの変遷をご自身の経験を踏まえながらご説明いただき、後半は実際の現場で行う運動などの実技を中心にご指導いただきました。特に後半の実技指導の場面では参加者からの質問が多くあり、時間が足りないような印象も受け、とても有意義な時間であったと思います。今回の研修会にて臨床の現場で私たちの手助けとなる部分もあり積極的に活かしていきたいと感じました。また、青森県では来年度に全国障害者スポーツ大会を控えているため、こちらの方でも活かしていきたいと思います。

最後にご講義いただきました門田先生をはじめ、研修会の企画を助けていただいた青森県立保健大学の篠原博先生、運営にご協力いただいた役員の方々に深く感謝申し上げます。

症例検討会



テーマ：

○神経系理学療法学：4 演題

○運動器障害系理学療法学：2 演題

参加者：33名



症例検討会は青森支部内だけでなく、津軽支部や県外からの参加者もみられていました。発表者は若手が多かったですが、会場からの質疑応答に真摯に答える姿勢が見られ、アドバイス等もあり活発な意見交換ができていました。当日の聴講者からは内部障害系の演題を希望する声が多くあり今後検討していく必要を感じました。

支部アンケート



実施期間：令和7年11月4日～

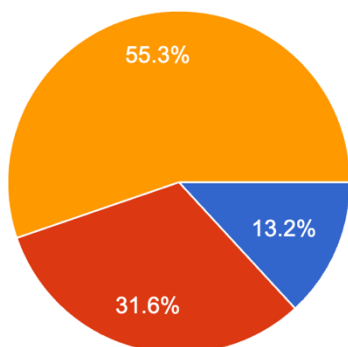
12月12日

支部会員数：286名

(2025年4月1日時点)

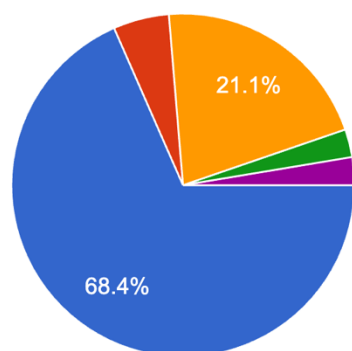
回答人数：37名 回答率：約13%

特別研修会の内容に満足していますか？



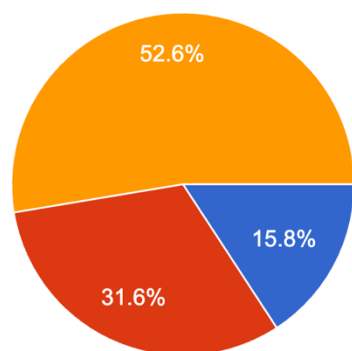
- とても満足している
- 満足している
- どちらとも言えない
- やや不満
- 不満

特別研修会の開催頻度はどうですか？



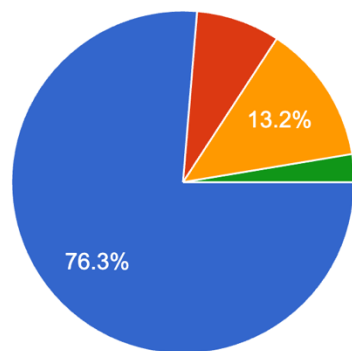
- ちょうど良い（１年に１回）
- 多い（数年に１回でも良いと感じる）
- 少ない（１年に複数回開催してほしい）

症例検討会の内容に満足していますか？



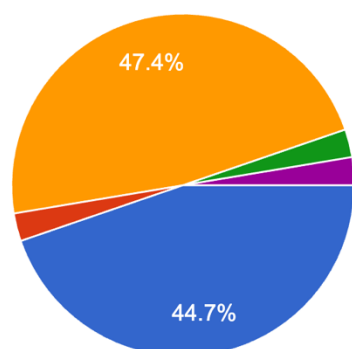
- とても満足している
- 満足している
- どちらとも言えない
- やや不満
- 不満

症例検討会の開催頻度はどうですか？



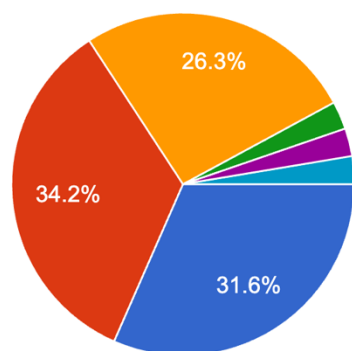
- ちょうど良い（１年に１回）
- 多い（数年に１回でも良いと感じる）
- 少ない（１年に複数回開催してほしい）
- 頻度ではないと考えている。

学術活動（特別研修会・症例検討会等）の開催方法はどれを希望しますか？



- 対面
- リモート（zoom等）
- ハイブリット（対面＋リモート）
- 内容に応じてどちらでも
- 座学系ならリモート、実技や対面開催での利が大きい場合は対面、内容に応じて。ハイブリットは主催者の負担を考慮するとあまり無理強いしたくないです。

支部役員としての支部活動の企画・運営に興味はありますか？



- はい
- いいえ
- どちらでもない
- 立場上、兼務できませんので、お願いします。
- 経験あり（関われる範囲内でお手伝いは可能です）
- お手伝いできることであれば

支部長から一言

会員の皆様には、日頃より本会の運営ならびに各種活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度は、特別研修会および支部症例検討会を開催するとともに、支部会員を対象としたアンケートを実施いたしました。

特別研修会では、門田正久先生をお招きし、実技を交えた講義を行っていただきました。次年度に青の煌めきあおもり国スポ・障スポを控える中、現場経験に基づく講義は大変有意義なものとなりました。

支部症例検討会では6演題を募集し、すべての演題が集まり対面形式で開催することができました。当日は30名を超える会員が参加し、活発な意見交換が行われました。

アンケートでは特別研修会・症例検討会に対する前向きな意見が多く寄せられました。今後はこれらのご意見を踏まえ、より多くの会員が参加しやすい運営を目指してまいります。

次年度以降も、青森支部の活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。